

海洋環境の保全

海は生きている
美しい海を後世に

海の世界

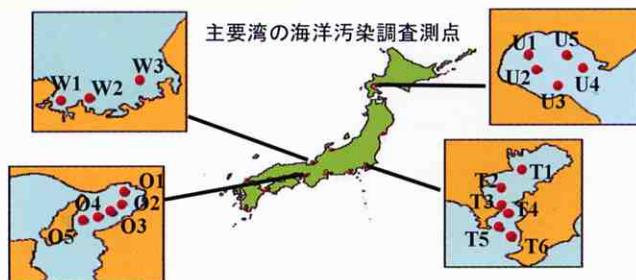
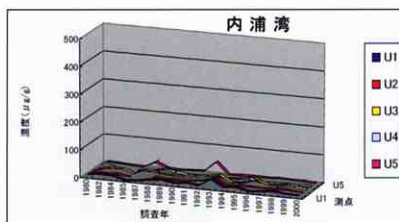
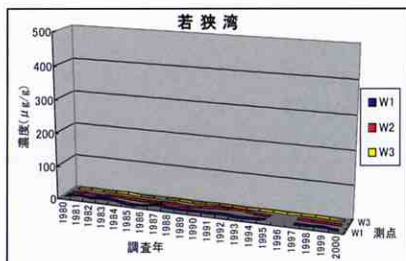
海洋汚染調査

海上保安庁では、昭和47年以降、我が国周辺海域、閉鎖性の高い主要湾域及び産業廃棄物排出海域において、海洋汚染の防止及び海洋環境の保全に必要な基礎データの収集を目的とした海水及び海底堆積物の調査を定期的に行っています。

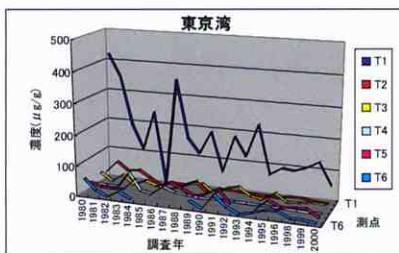
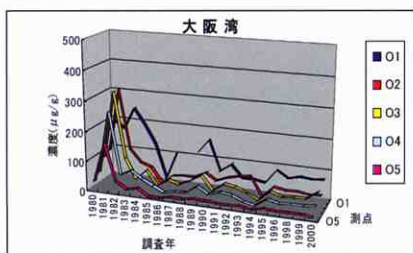


分析作業

海底堆積物中の油分濃度



海底堆積物中の油分濃度



放射能調査

地球環境保全のため日本周辺海域及び深海域の海水、海底土について、核廃棄物の海洋投棄及び核実験などで生じる人工放射性物質の分布状況、深海海流測定及び経年変化などを調査しています。

また、原子力軍艦の寄港地及び核燃料再処理施設周辺海域（常磐沖）においても環境放射能に関する調査を行っています。



採泥作業

汚染メカニズムの解明

モニタリングポスト及び衛星による赤潮・貧酸素水塊の監視



東京湾流況解析シミュレーション



海底堆積物等・東京湾への流入水的环境調査



連携機関の調査

東京湾蘇生プロジェクト

海上保安庁は、豊かで美しい東京湾を蘇らせるため「東京湾蘇生プロジェクト」を開始し、モニタリングポストによる潮流・水温などの定常観測及び海底堆積物中のダイオキシン類など残留性有機汚染物質（POPs）の調査を行います。